

学校だより

かみさくのべ

令和8年度

学校だより

令和8年6月23日

川崎市立上作延小学校

一つ一つの活動から得る経験

校長 清水 弘彦

先月7日に梅雨入りした関東地方ですが、子どもたちは天候に合わせて工夫して過ごしています。また毎朝登校時に、子どもたちと元気のよいあいさつを交わすことができ、元気をもらっています。先月の学校だよりでもお知らせしましたが、互いを傷つける言葉遣いについて各クラスで時間をかけて話し合いを進めています。子どもたちは相手を傷つける言葉について、その言葉を発するに至る背景までしっかり考えてくれました。人と人が関わり合うことなので、時には感情的になることは仕方のないこともあると思います。ただ、感情に任せて発してしまう言葉が結果的に相手を傷つけることになることを子どもたちに学び、学校生活に生かしています。これからもまずは大人が意識して相手を思いやる言葉遣いを用いるようにしていきたいと思います。

さて、6月は様々な学年で校外での学習が行われました。さくら級は近隣の農家の方の畑でジャガイモ掘りをさせていただき、給食で提供された「粉ふきいも」や「ジャガイモのからあげ」の一部として使用しました。ジャガイモが苦手な子がいたのですが、自分で掘ることでジャガイモへの愛着がわき、進んで食べられるようになったとのことでした。

1年生は、野毛山動物園に出かけました。小学校で初めての遠足。訪れた経験がある子たちも、みんなで見ると新鮮さに大きな喜びを感じていました。2年生は近隣の農家の方の畑を提供していただき、サツマイモの苗を植えました。その他にも自分たちで育てている野菜の育て方について教えていただいています。他の学年でも近隣の農家の方にお世話になるのですが、本校はこのような活動を通して地域とつながっています。これからもよろしく願いいたします。3年生は市内見学に出かける予定です。川崎市の臨海部はなかなか行く機会のない場所になると思いますが、同じ川崎市でも全く違う環境を学んでもらえればと思います。4年生は、6月に出かける機会はありませんでしたが、代わりに外部の講師（川崎市環境局のみなさん）に来ていただき、出前ごみスクールが行われました。スケルトン収集車にごみがどのように積載されていくか、ごみの分別の重要性など、身近なごみをより深く学習していました。5年生は、2泊3日の日程で八ヶ岳自然教室に出かけました。いつも体育館から溢れんばかりのかけ声で練習してきた成果を生かし、「協力・考動 最高の自然教室にしよう！」のスローガンのもと、思い出深い行事になりました。6年生は1泊2日で日光修学旅行に出かけました。最高学年らしく、公共施設での過ごし方はもちろんですが、ガイドさんの説明を真剣に聞き、一つ一つの説明に大きなリアクションで応えていました。後日「こころの劇場」を鑑賞しに、カルッツ川崎にも出かける予定です。

このように校外学習（遠足）では、普段学校での学習だけでは得ることのできないたくさんの経験を積み重ねることが出来ます。いつもと違う場所で、たくさんのヒト・モノ・コトに触れるだけでなく、友達の新たな一面にも触れることができるのではないのでしょうか。また集団で行動する活動の中で、困っている子に積極的に手を差し伸べる機会を得ることができるとともに、みんなの前で「困った」と表明することができる機会を得ることができると思います。これらの機会をたくさんの子どもたちが獲得できるように私達教職員はこれからも努力していきます。

ここでみなさんにお願ひがあります。子どもたちが持ってきている水筒ですが、肩から掛けている状態で走り出し、転倒した時に腹部を強打してけがを負うケースが増えています。肩から水筒を掛けている時には十分注意するように声かけをお願いいたします。